

## 核融合科学研究所オープンキャンパス 2016 「きて！みて！さわって！プラズマワールド」

高 畑 一 也

10月8日(土)に、恒例の核融合科学研究所のオープンキャンパス（一般公開）を開催しました。オープンキャンパスは、プラズマや核融合の研究を、幅広い年齢層の方々に理解していただくため、1998年から毎年開催し、今回で19回目になります。今回の「きて！みて！さわって！プラズマワールド」のテーマのとおり、楽しんで科学に触れることができる体験型イベントです。職員が毎回アイデアを出し合って、自ら製作した科学実験などを企画するため、通常の科学館では見られない展示をご覧いただけます。もちろん、施設の一般公開として、世界最大級の超伝導プラズマ実験装置である大型ヘリカル装置（LHD）やドラマの撮影にも使われた制御室、普段は見ることのできないスーパーコンピュータもご覧いただきました。当日は幸いなことに、朝からの雨も開場のころには上がり、2,000名の方が来場されました。足下の悪い中、お越し

いただいた来場者の皆さまに感謝いたします。

今回のオープンキャンパスでは、LHDの直径1.2メートルの真空排気用ポートを特別に開放し、普段は見ることのできないプラズマ真空容器内部を公開しました。少し遠目での公開でしたが、ヘリカルコイルの振れた構造を実感していただけたと思います。また、より装置に近付いて見ていただけるよう、フロアレベルの職員用通路を使って装置の周り一周していただきました。来場者からは「解説してくれたスタッフの皆さんが熱心で分かりやすかったです。」「今年はLHDの中まで見せていただきありがとうございました。」など、嬉しい感想をいただきました。

さて、テーマに「さわって！」とあるように、オープンキャンパスでは、様々な体験型イベントを開催しました。中でも工作教室は最も人気がある企画で、今回はソーラー風車、セラミック折り



解説を聞いてからLHD見学ツアーに出発！



LHD見学ツアーで真空容器の中を覗いています

紙、セラミックプレート、LHD型分光器の4種類の工作教室を開催しました。数に限りがあるため、先着順や抽選制にしなければならないことがとても残念でした。他にも「さわる」ことができる体験型の展示物を数多くご覧いただきました。ここでは一部しか紹介できませんが、プラズマボール、核融合炉運転シミュレータ、バーチャルリアリティLHD、放射線測定体験、形状記憶合金、不思議な液体、超伝導磁気浮上列車、ペットボトルロケット



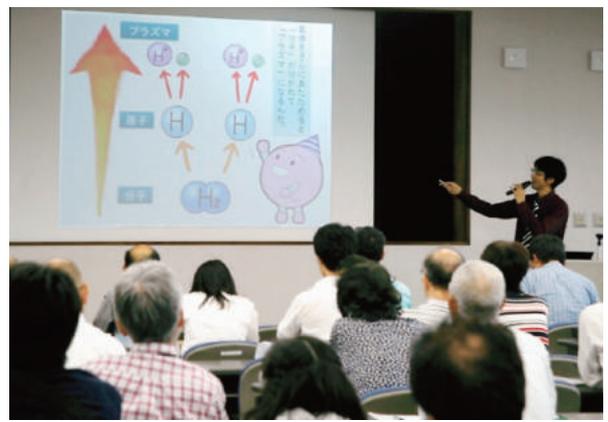
工作教室でソーラー風車を作っている様子



プラズマボールを体験する子どもたち

トなどです。実際に道具に触ることにより、より科学を身近に感じていただけたと思います。

職員による核融合やその応用分野に関する講演会も、例年人気を集めている企画です。今回は、伊藤篤史准教授による「はじめての核融合」、柳長門教授による「みんなと地球に役立つ超伝導 核融合～医療～そして」の2部構成の講演会を開催しました。どちらも会場が満員となる100名近い方に聴講いただき、講演の後も、盛んに質問がでていました。



講演会の様子

来年度のオープンキャンパスは、大型ヘリカル実験棟の一部が管理区域になることで、会場が狭くなったり、ご覧いただけないところも出てきたりします。その分、より密度の濃い展示、公開を企画いたしますので、皆さまのお越しをお待ちしています。

(装置工学・応用物理研究系 教授  
／オープンキャンパス2016実行委員会 委員長)



プラズマくと仲間たち  
(左からミナモ、とつくりとつくん、プラズマくん、志野田茶太郎)